

透析液中エンドトキシン測定 マニュアル



① ウォームアップ

- 1 ウェルリーダー SK603本体にパソコンを接続し、電源を入れます。
- 2 パソコン画面上のウェルリーダー SK603ソフトアイコンをクリックします。
- 3 15分のウォームアップが自動的に始まります。

ウォームアップが終了した後に測定を行って下さい。
(温度表示部が37.0であることを確認して下さい)



② 測定準備

- 4 測定時のパラメーター、ウェルパターンと標準液の濃度を設定します。
または既存のファイルを開き、適宜パラメーター、ウェルパターンと標準液濃度を変更します。
- 5 標準品のバイアルに添付の蒸留水全量を添加し、アルミ箔を被せ試験管ミキサーで少なくとも1分間攪拌して標準液を調製します。

※試薬バイアル記載の標準品濃度はEU/mL表示になっていますので、濃度を入力の際は1000倍した数値を入力して下さい(EU/L)。



③ 測定・結果確認

- 6 LPプレートの所定のウェルに、St1(ブランク液)・St2(標準液)・検体を50 μ Lづつ添加し、プレートの蓋を被せておきます。



- 7 エンドスペシーES-50Mのバイアルを開封します。緩衝液を添加し、アルミ箔を被せ、泡立てないように手で振り混ぜて溶解します。



- 8 プレートのSt1(ブランク液)・St2(標準液)・検体が添加されたすべてのウェルに溶解したエンドスペシーES-50Mを50 μ Lづつ添加します。



- 9 プレートの蓋を被せたまま、ウェルリーダーSK603にセットします。
- 10 Measureアイコンをクリックします。自動的に測定が開始されます。
- 11 測定終了後はList Resultアイコンをクリックすると、測定結果が表示されます。



透析液採取・保存方法

検体採取

1) T字サンプルポートからの採取

- ① T字サンプルポートキャップ部を消毒用アルコール綿で拭きます。
- ② 注射針をつけたディスポーザブルシリンジをT字サンプルポートに刺し、シリンジ全体を透析液で満たすように吸引して一度破棄します。
- ③ 再度シリンジをT字サンプルポートに刺し、数回ポンピングします。
- ④ 採取した透析液を乾熱滅菌試験管に1/4量ほど移します。



T字サンプリングポートからの採取

2) カプラーからの採取

- ① カプラージョイントからしばらく透析液を流します。
- ② 注射針をつけたディスポーザブルシリンジを透析液で満たすように吸引し、一度破棄します。
- ③ 再度シリンジ全体を透析液で満たすように採取します。
- ④ 採取した透析液を乾熱滅菌試験管に1/4量ほど移します。



カプラーからの採取

HDチューブを用いた検体保存

- ① 上記1) または2) の手順で検体をシリンジに採取し、4mLの目盛りに合わせます。
- ② HDチューブのカラーキャップを矢印の方向に引き上げ、アルミ部分を切らないように(カラーキャップが完全に外れ落ちないように)カラーキャップを開け、ゴム栓部分を消毒用アルコール綿で拭きます。
- ③ 透析液を4mL採取したシリンジ(注射針付)をHDチューブのゴム栓部に刺します。
- ④ HDチューブ内は陰圧となっているため、全量(4mL)が自動注入されます。
- ⑤ ピストンが最後まで下がりましたら、針を引き抜きます。
- ⑥ 透析液注入後、カラーキャップを元通り被せ、直ちに4回振り、安定化剤を透析液に均質に混ぜます。
- ⑦ カラーキャップの周りにパラフィルムを巻いて、2~8℃で保存します。



HDチューブを用いた検体保存

よくあるご質問

Q1) St1 (ブランク値) が高値にでてしまいました。

操作中に汚染した可能性がありますので、測定し直して下さい。

Q2) プレートウェルリーダー SK603にセットして測定開始したところ、異常音がします。

プレートがきちんとセットされているか確認して下さい。プレートがきちんとセットされていない場合、異常音が出て測定が開始されません。

製品添付文書をよく読んでから使用して下さい。



発売元

生化学工業株式会社

機能化学品営業部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6-1

Telephone : 03-5220-8953

Facsimile : 03-5220-8956

E-mail : lal@seikagaku.co.jp

URL : <http://www.seikagaku.co.jp/>